



令和5年度 福井市水道事業ビジョン2020 フォローアップ

令和6年10月 福井市上下水道局



令和2年3月に策定したビジョンにおける各種施策や数値目標の達成状況について、令和5年度末時点における進捗状況を検証した。

1 各種施策の進捗状況

基本目標1【水質管理の強化】

○水質検査計画に基づく水質検査の実施：179 成分

※北陸3県で唯一、水道GLP（日本水道協会が、水質検査に精度と信頼性を保証する認定制度）を取得している

○配水池の清掃、水道管の洗管作業を実施

○鉛製給水管の解消を推進するため、解消実施計画を策定（R5 布設替件数：650 件）

<水道GLP認定証>



基本目標2【安定した水道水の供給】

○安定した水源確保のため、井戸の揚水試験や水質検査を実施
：52 箇所

○漏水調査の実施：524 km

○原目配水池の流量圧力調整設備を更新

○無ライニング铸铁管（※）を更新：3.1 km
※無ライニング铸铁管とは、管の内面に防食対策が施されていない铸铁管

<水道管の布設状況>



基本目標3【水道施設の耐震化】

○浄水施設：九頭竜浄水施設の基本設計を実施

○配水池：篠尾配水池などの耐震診断を実施

○重要給水施設配水管：688 更新

○基幹管路：
川西送水管 1,623 更新
江端送水管 909 更新
高尾送水管 405m更新
その他市内配水管 688 更新

<ダクタイル铸铁管（※）の耐震性>



<ダクタイル铸铁管の布設状況>



※ダクタイル铸铁管とは、100 年を超える使用が可能な高い耐震性を有する管。
本市では、平成23年（2011）から採用している。

1 各種施策の進捗状況

基本目標 4 【災害対策の強化】

- 連絡管の整備：H29 年度から開始した、九頭竜浄水場と森田浄水場を結ぶ連絡管の整備が完了した
- 訓練の実施：BCP訓練（風水害訓練 1 回、地震訓練 1 回）等

<BCP訓練（風水害）>



<BCP訓練（地震）>



基本目標 5 【お客様サービスの向上】

- 水道料金におけるスマートフォン決済の継続実施
- 水道事業に関するPR、情報発信

<上下水道のミカタの発行>
年3回 全戸配布



<上下水道展の開催>
約 800 人来場



<上下水道すごろく配布>
配布枚数：約 1,300 枚



基本目標 6 【経営基盤の強化】

- 企業債残高の縮減額：約 3.4 億円
- 簡易水道事業の統合による効率化
 - ・下味見地区簡水事業の R8 統合完了に向け、折立浄水場等を築造

基本目標 7 【人材の育成】

- 局内技術研修センターによる研修：12 研修
(給水車運転操作、非常用貯水装置操作、漏水調査に関する講習会 等)
- 日本水道協会主催による研修への参加：4 研修
(水道基礎講座、水道事務講習会、技術技能研修、配管設計講習会)

<給水車運転操作研修会>



<非常用貯水装置操作研修会>



基本目標 8 【環境負荷の低減】

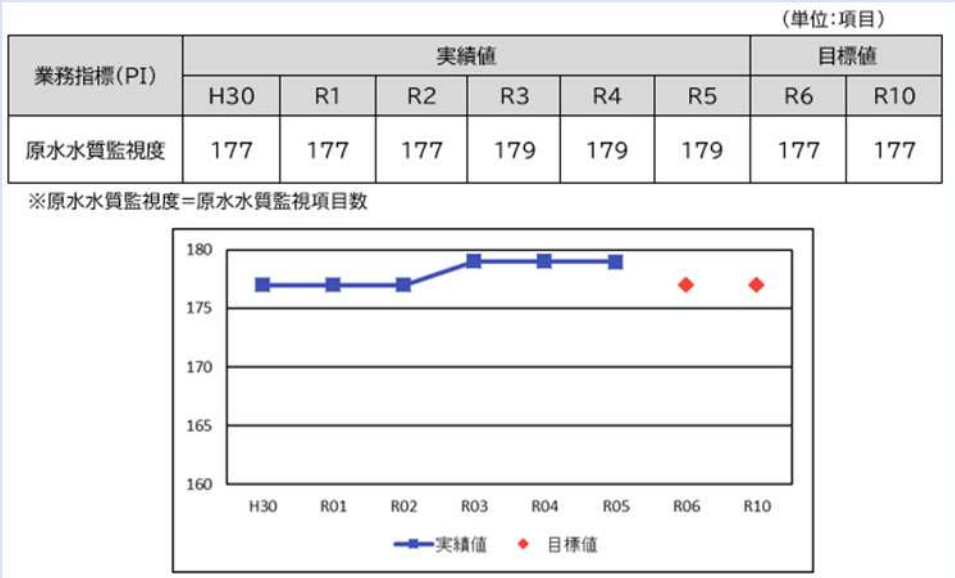
- 建設副産物のリサイクル率：65.0%（目標値 50%以上）
- 浄水発生土の有効利用率：100.0%（目標値 100%）
- 配水量 1 m³あたりの電力消費量：0.41KWh/m³（目標値 0.40 KWh/m³）

2 各種指標の推移と達成度評価

評価（＝R10目標値達成の見込み）・・・◎：極めて高い　○：高い　△：低い

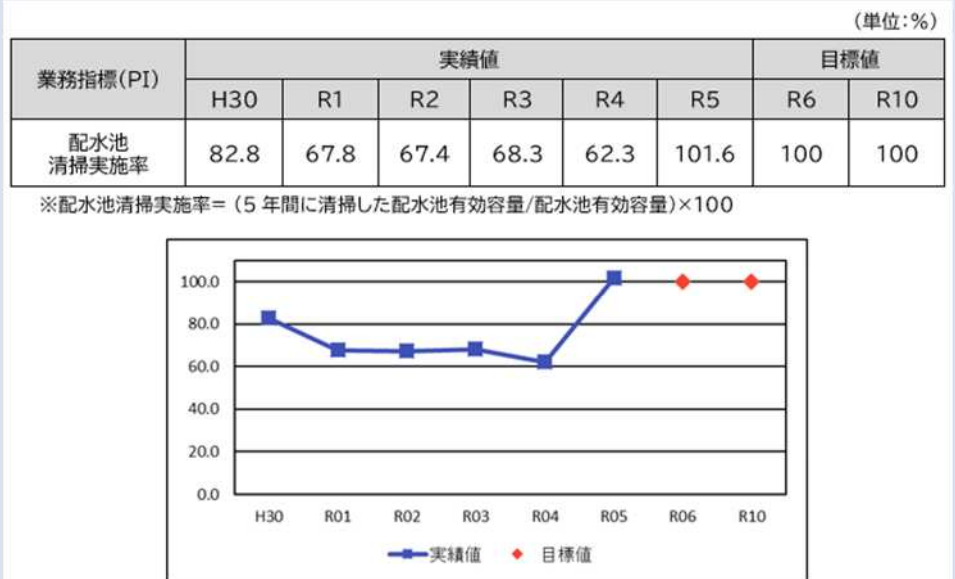
No. 1 原水水質監視度

評価：◎



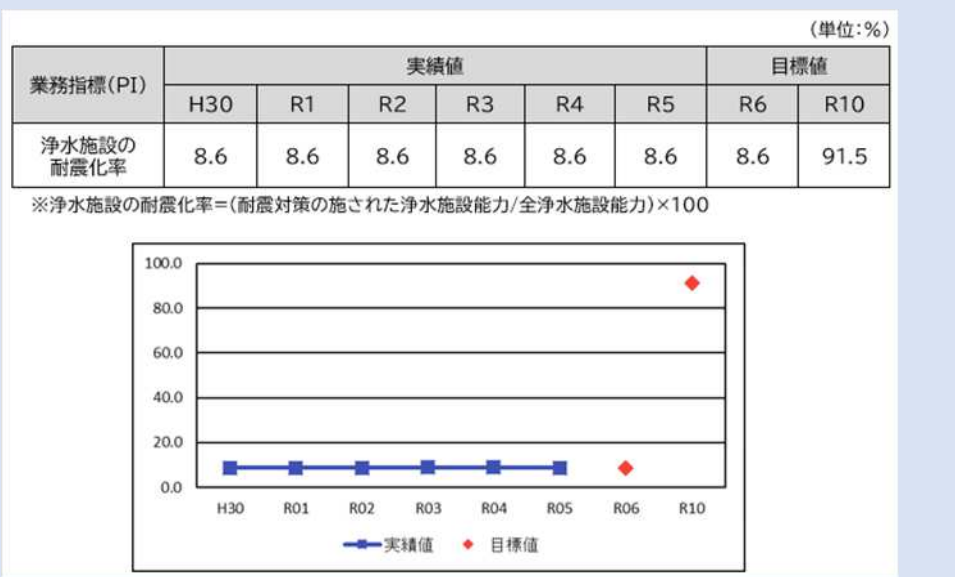
No. 4 配水池清掃実施率

評価：○



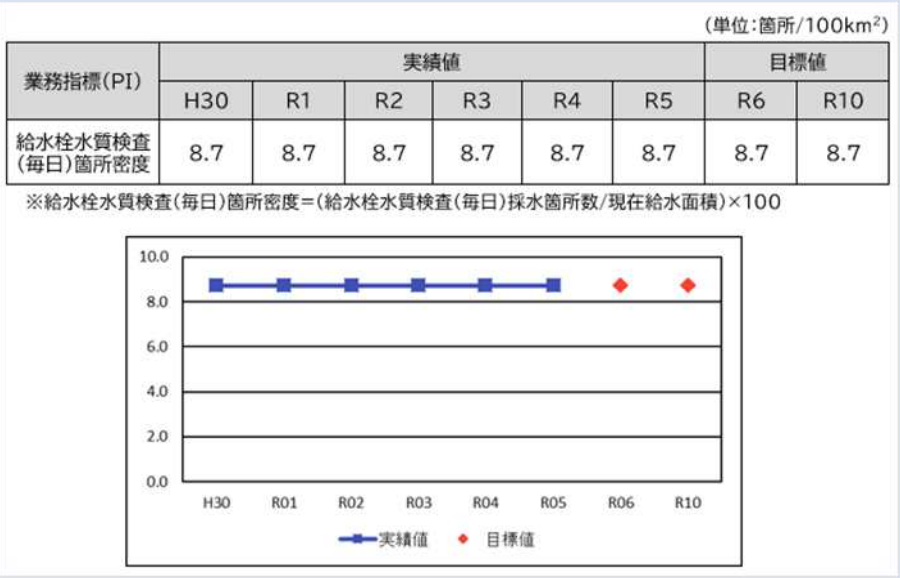
No. 7 浄水施設の耐震化率

評価：△



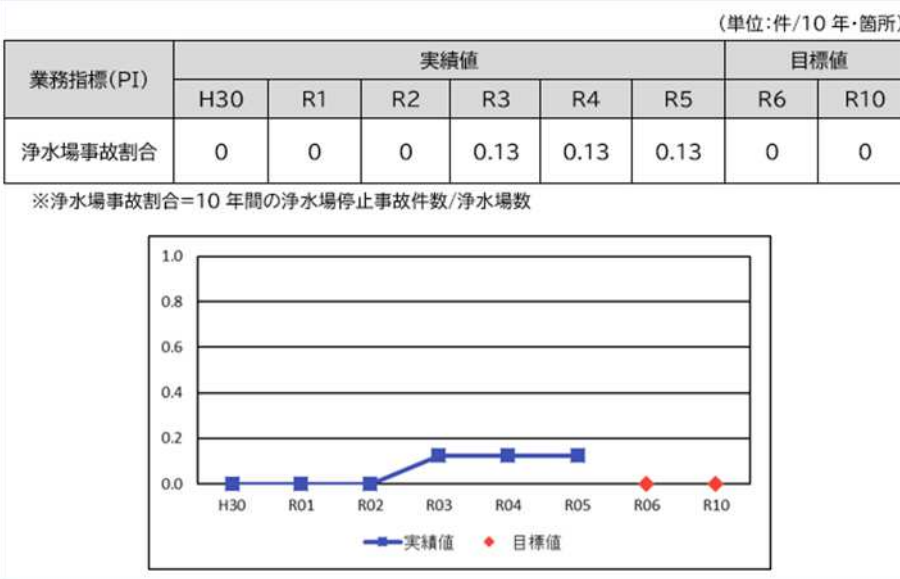
No. 2 給水栓水質検査(毎日)箇所密度

評価：◎



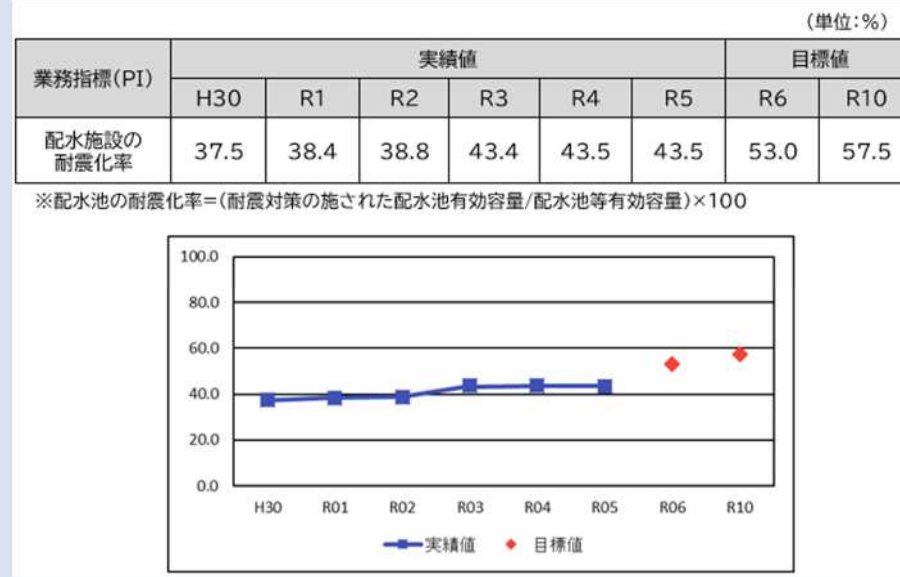
No. 5 浄水場事故割合

評価：△



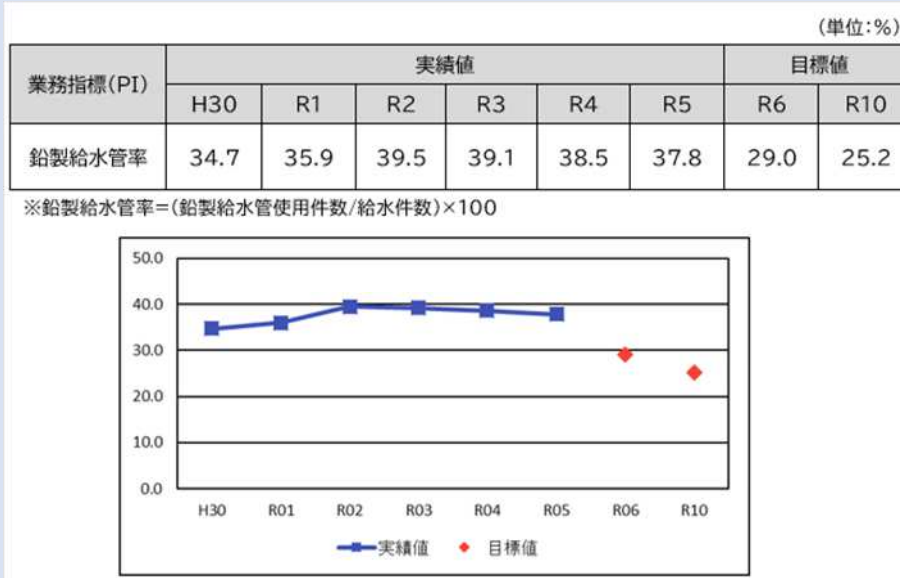
No. 8 配水池の耐震化率

評価：○



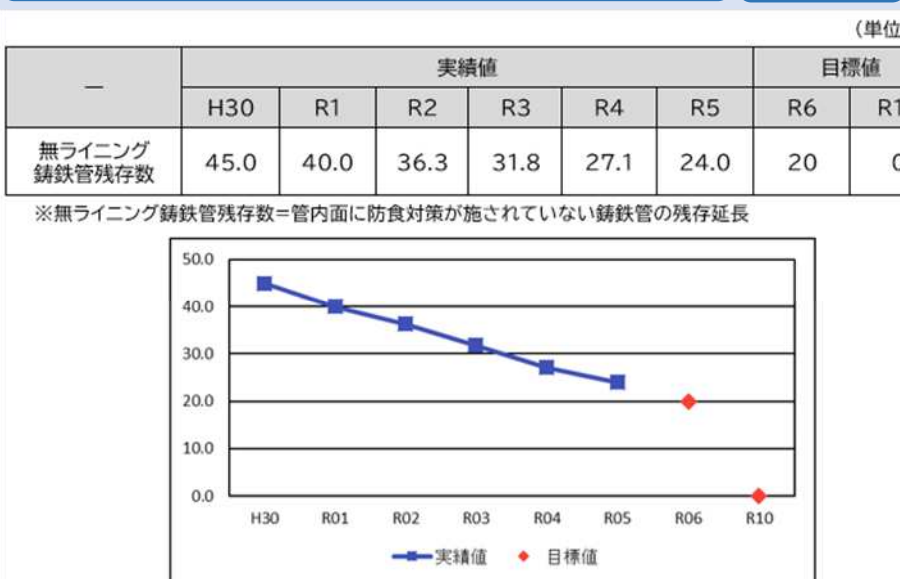
No. 3 鉛製給水管率

評価：△



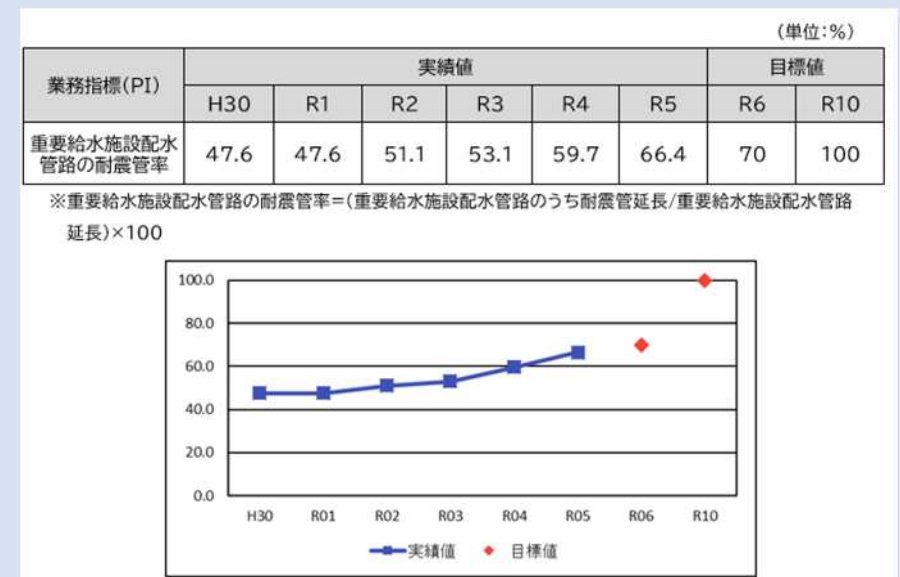
No. 6 無ライニング铸铁管残存数

評価：○



No. 9 重要給水施設配水管路の耐震管率

評価：○

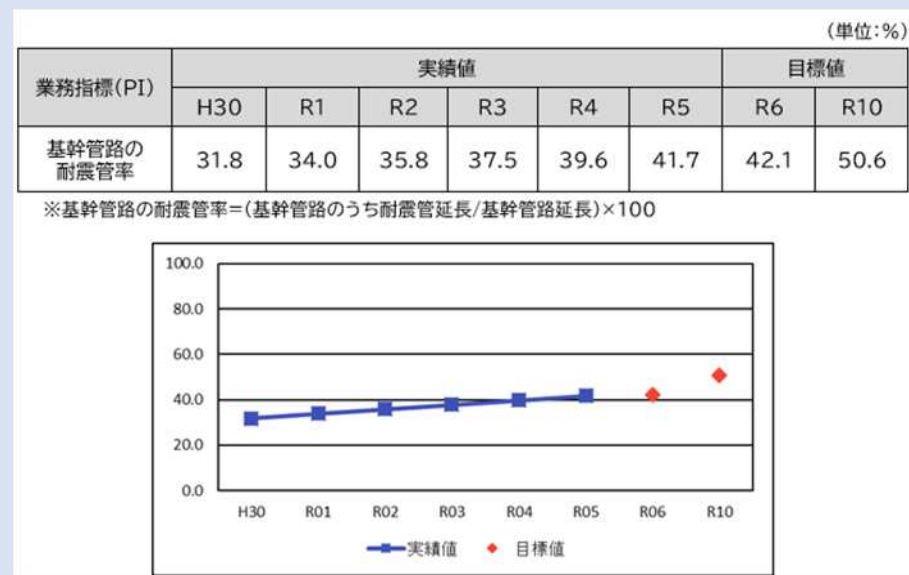


2 各種指標の推移と達成度評価

評価（＝R10目標値達成の見込み）・・・◎：極めて高い ○：高い △：低い

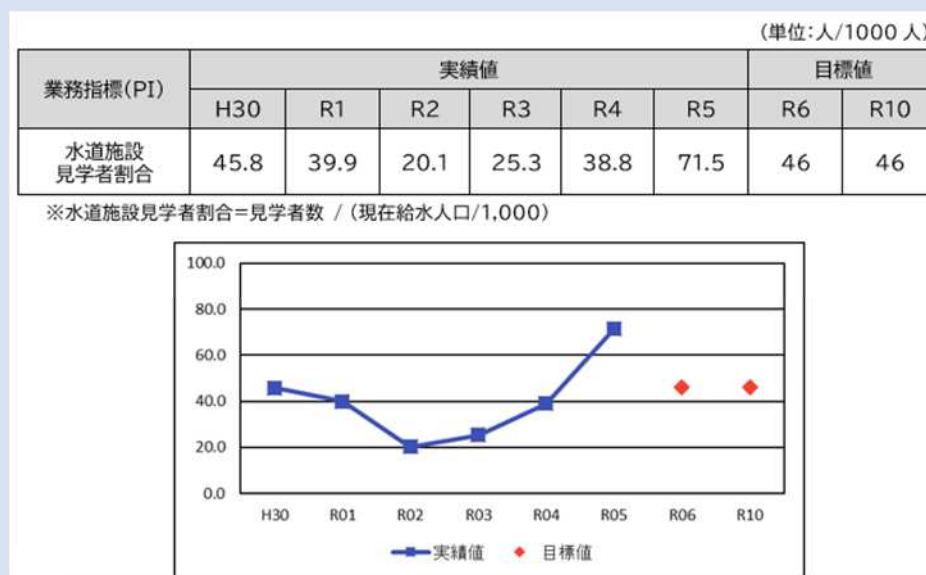
No.10 基幹管路の耐震管率

評価：○



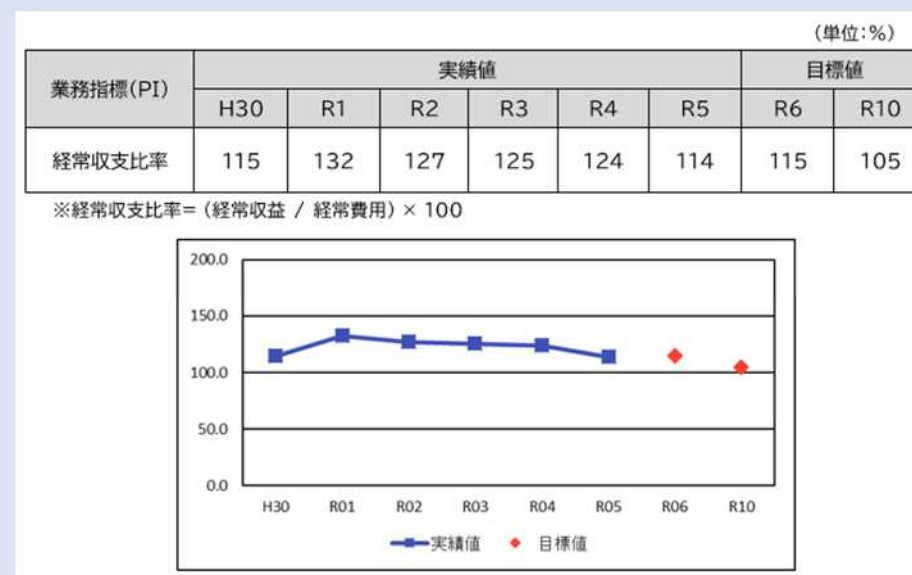
No.11 水道施設見学者割合

評価：○



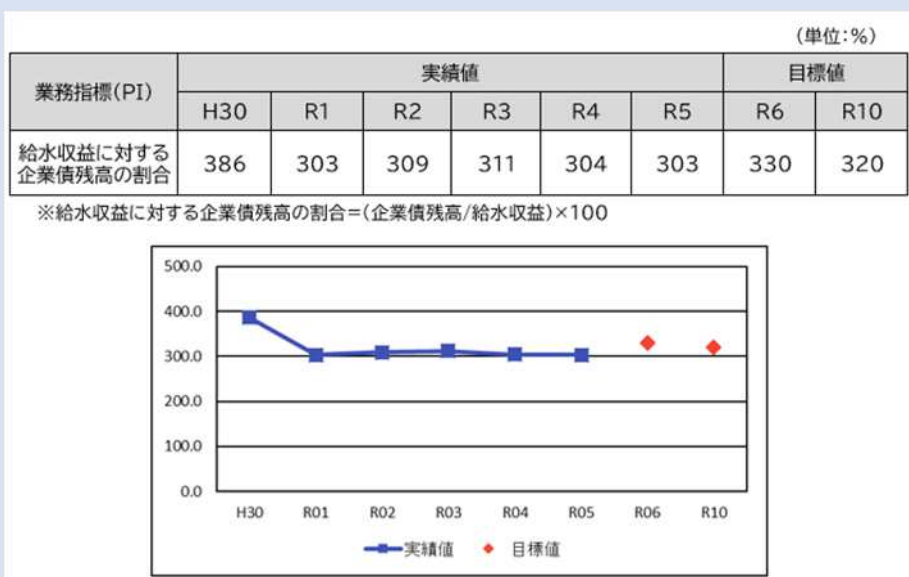
No.12 経常収支比率

評価：◎



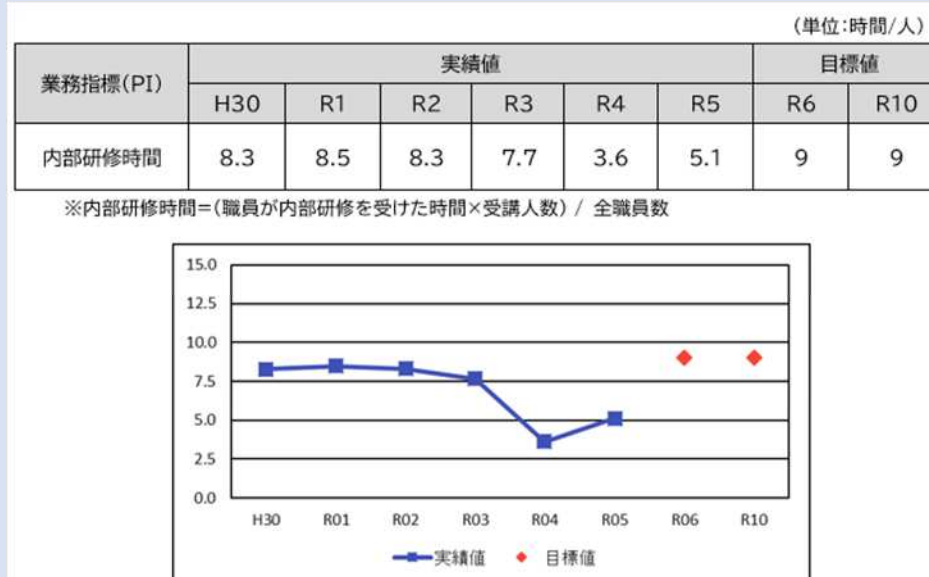
No.13 給水収益に対する企業債残高の割合

評価：◎



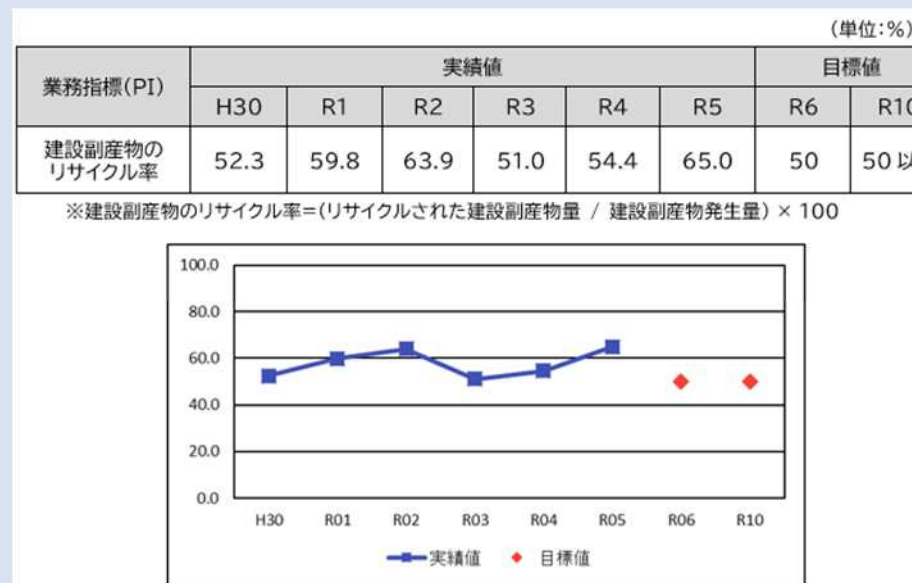
No.14 内部研修時間

評価：△



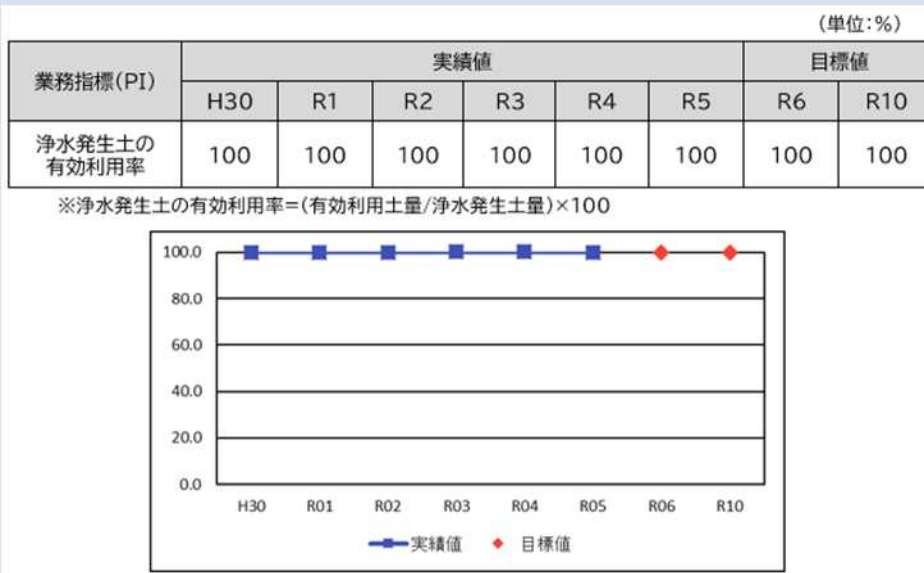
No.15 建設副産物のリサイクル率

評価：◎



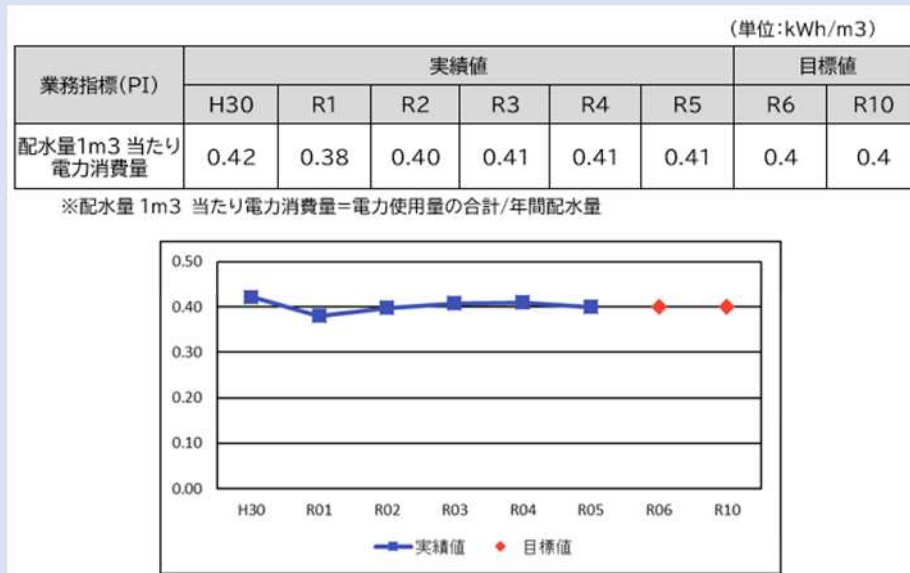
No.16 浄水発生土の有効利用率

評価：◎



No.17 配水量 1 m³当たり電力消費量

評価：◎



【指標の分析】

- ・耐震化について、ほぼすべての水道施設において、目標値を達成していないため、大規模・頻発化する地震に備え、耐震化を進めていく必要がある。
- ・「No.12 経常収支比率」、「No.13 給水収益に対する企業債残高の割合」とともに目標値を達成して推移しており、現時点では健全な経営状態といえる。

3 決算状況

【決算状況】

※金額は百万円単位で四捨五入 () 内の数値は対前年度増減率

収益的収支：収益面では、給水収益の減などにより、営業収益は42億2,400万円(△2.3%)となった。また、営業外収益は5億6,300万円(△3.5%)となり、これらを合わせた総収益は47億8,700万円(△2.6%)となった。

費用面では、人件費や施設の維持管理費の増などにより、営業費用は40億300万円(+6.8%)となった。

また、営業外費用は企業債利息等の減少により2億200万円(△3.6%)となり、これらを合わせた総費用は42億500万円(+6.1%)となった。

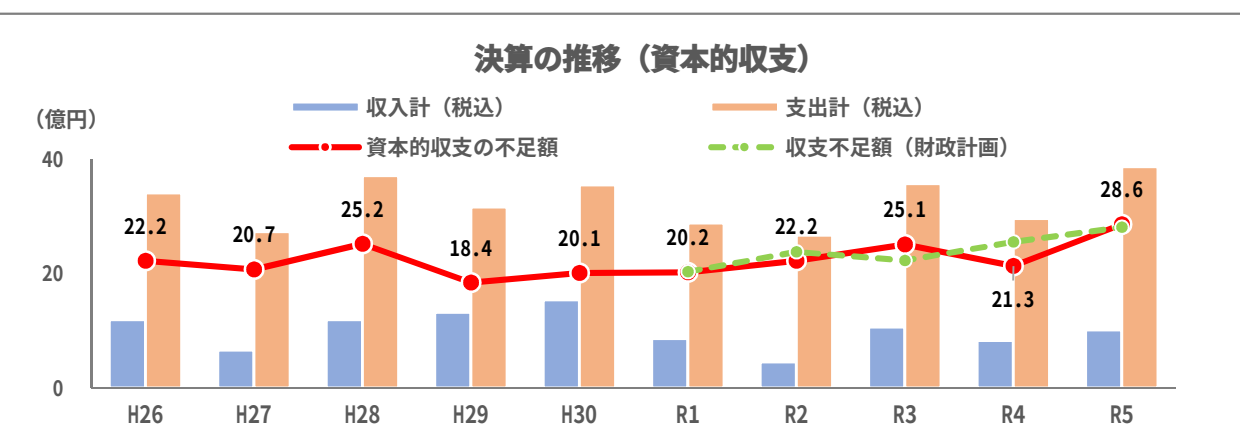
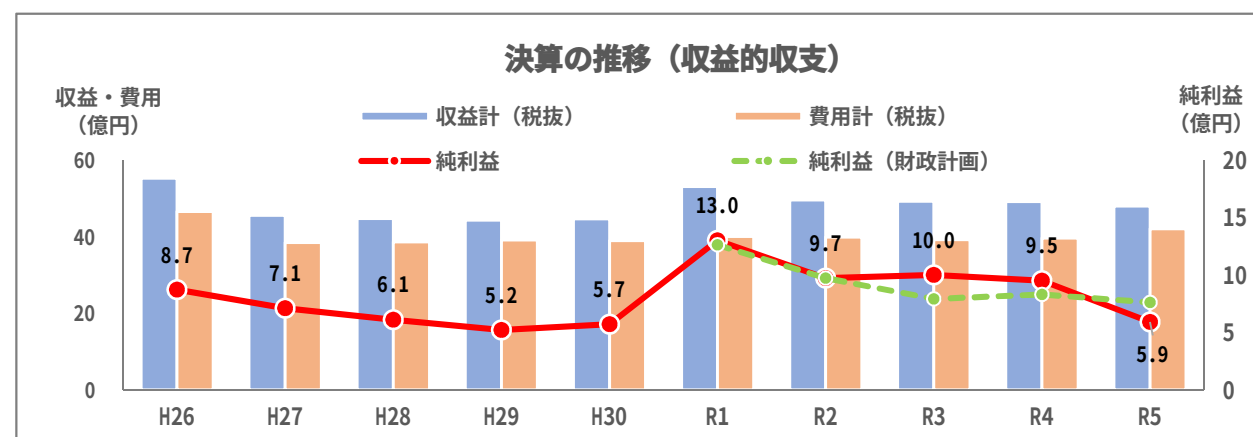
この結果、当期純利益は5億8,300万円(△38.8%)となった。

資本的収支：収入面は、企業債や国庫補助金の増などにより、10億1,400万円(+21.5%)となった。

支出面では、建設改良費の増などにより、38億6,600万円(+30.6%)となった。

この結果、資本的収支の不足額は28億5,200万円となり、留保資金や収益的収支で生じた利益等で補填している。

<福井市水道マスコット「アクア」>



【財政計画（水道事業ビジョン2020）との比較】

【単位：億円】

	収益的収支			資本的収支		
	収益	費用	純利益	収入	支出	不足額
財政計画	46.5	38.8	7.6	10.1	38.2	28.1
R5決算	47.9	42.1	5.8	10.2	38.7	28.5

- ・収益的収支については、人件費や光熱費の高騰による維持管理費の増加により、純利益が、水道事業ビジョン2020（以下「ビジョン」という）の計画値よりも減少した。
- ・資本的収支については、用地取得や耐震化事業に係る費用の増加により、資本的収支の不足額が、ビジョンの計画値よりも増加した。